11月13日 日曜日 12日発行

昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5

THE NAIGAI TIMES

第3277号（昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号）

天気予報 今晩 北の風 曇り 明日 北の風 曇りのち晴

『代行委制』を協議 新党準備会 常任世話人会

四月に総裁公選

三木氏言明 支部の確立待ち

新党準備会常任世話人会は十二日午前十時から衆院議長室で開かれ [illegible] 暫定的に党則に則って新党総裁の職務権限を代行することはおかしくないと思う』と見解をのべた。さらに芦田均氏（民）から『代行制は問題があるが、この際、全員で承認したい』と発言、清瀬一郎氏（民）は『私の友人の中にも代行制に反対するものがあるが、これはなんとか説得したい』と述べた。

これに対し池田勇人氏（自）は『私は代行委員制には不満だ。もしきょう常任世話人会が採決するならば私は棄権する。しかし採決しなければ党に持帰ってまとめるよう努力する』と発言、三木、大野両総務会長が『きょうはこの程度にし明十三日午後零時半から再び常任世話人会を開きたい』と述べ全員了承、同十時半散会した。

世話人会終了後、立話しをする池田(右)と岸の両氏、右端は河野農相（けさ院内で）

外相会議 16日閉会 会期延長を断念

[illegible] 委員会を設置するとい [illegible] かもしれないが、西 [illegible] に反対するものと予 [illegible]

【ジュネーヴ十二日発AP=共同】信頼できる筋が十一日夜明らかにしたところによれば、西欧側代表団は明春ふたたび四国外相会議を開くべきだと考えている。

14日解党を決定

自由党首脳会議 党内とりまとめに全力

自由党は十二日午前十時四十分院内で首脳会議を開き、前日に引続き代行委員制を認めて新党に参加するかどうかにつき協議した。この日の会議では代行委員制についてはすでに党議が出つくしたため、これ以上論議することをやめ、どのように事態を収拾するかを中心に協議した。佐藤栄作、池田勇人両氏からは代行委員制は認めがたいので新党に参加せず、残留するとの意向が示された。これに対し緒方総裁はじめ党執行部から代行委員制によって新党を結成するとの強い意見が述べられ、結局首脳会議としては十四日に解党し、十五日に新党を結成するとの方向が明確になった。

この間にあって林譲治、益谷衆院議長は党の分裂をさけ、挙党一致の合同をとるべきであるとの見地から党議の貫徹を主張している党内主体性派の説得を図ることが必要であるとの意見をのべた。

このため首脳会議では十二日一ぱい林、益谷両氏が党内取りまとめにあたることとし、同日午後の総務会では早急に結論を出すことをさけ、十四日解党することだけを決定することを申合せた。

自由党としては林、益谷両氏による党内主体性派説得を待ち、十三日夜または十三日午前再び首脳会議を開き最終的調整を行なったのち、十三日の総務会で代行制による新党参加を正式に決定する意向である。このような情勢なので主体性議員の大多数の新党参加は確実である。また場合によっては池田、佐藤両氏ならびに吉田派の一部の議員は残留することとなろう。

代行委制で新党へ

民主 総務・議員総会で了承

民主党は十二日午前十時半から院内で総務会を開き、代行委制で新党を結成することを満場一致で決定し引続き午後一時から両院議員総会を開いて同様決定した。これにより同党は十四日午後一時から永田町グランド・ホテルで解党大会を開き、解党の上十五日の新党結成大会に臨む体勢となった。

同日の総務会では岸幹事長から総裁代行委制問題について四者会談常任世話人会の経過を報告、地方組織ができるまで総裁公選は行わず代行委制で総裁の職務権限を行うとの方針を説明了承を求めたこれに対し真鍋儀十氏から十一日夜の新橋クラブの合同慎重派有志会合での『代行委制には反対、公選まで鳩山総裁、緒方副総裁でゆく』旨の申合せをのべた。これに対し清瀬政調会長から『この主旨には賛成だが自由党が代行委制で承認する態勢にあるからいまこれを持出すべきでない』と意見が出され、結局総務会は満場一致幹事長の報告を了承した。

党機関の答申待って決定

米の統制撤廃

河野農相は十二日の民主党の総務会に出席、発言を求め、米の統制撤廃問題について政府は党機関の答申があるまで政府のこれに対する最終態度は決定しない旨報告した。

政界春秋

熾烈なる猟官運動

木村僖兵衛

長い間ゴタゴタした保守合同問題も一まず片付いた。解散を避けて、確実に天下をとろうというのが、緒方竹虎のねらいであった。解党・公選で押し進めば、自己の地位が前進するかと秤ってみた。鳩山首相がいうことをきかない。

河野一郎や、旧改進系鳩山側近が逆に解散に持っていこうとする野望も見えて来た。一歩踏み外すと"奈落の底"に突き落される懸念が濃かった。

吉田派には"即時公選をやれば、緒方は敗れる。敗れたら緒方の急追撃をやろう。鳩山も緒方も引きずりおろせ"という策謀がしきりにきこえた。緒方は吉田、大野両派のいずれかを斬って捨てる覚悟を迫られた。吉田派が揚言するように、四、五十名の残留者が出るとは思われぬが、ある程度の犠牲者は止むを得ないだろう。

代行委員とは変則である。変則であっても、暫らくこの道を行く他、救済策が発見されなければ致し方もない。民自両党とも相手をアマく見すぎた嫌いがある。それにしても緒方を踏切らしたのは、合同派の収穫である。あとは鳩山がいつ降りるか、降ろすか、疲れ切って倒れるかの問題で、その後緒方がスムーズに後継者になれるか否か、三木武吉、河野一郎、石橋湛山、正力松太郎、三木武夫といったメンバーが素直に緒方に賛成するとは思えないし、芦田均というクセ者もいる。これまで割合い緒方ビイキだった岸信介も百%緒方の味方とも思われぬだろう。

ともかく緒方を保守合同に踏切らしたことは大局的には成功である。一票か二票の差かと数を争っていたころは、票持ち代議士は大切でもあった。高値で売込みをねらっていた者もあるだろう。それらの堕落代議士の [illegible] 沢潤一を失望させたといって、感情的に鳩山が首を斬ろうとするのはケシカラヌと、同情論さえ起っている。アノ人をたたけば、自分が入閣できるだろうと相手にケチをつけている者も、五人や十人ではない。一等いけないのは鳩山が個人的に好悪の念が強く、野心家どもに動かされ [illegible] つかまれはすまいが、何しろアチコチから、ねらわれている。用心するに越したことはない。猟官運動ともなると、十年前、二十年前と少しも変らぬ姿は誠に醜態である。他人のねらい打ちは成功することもあるが、打ち返されれば元々で、多くの場合差引き損であることを牢記すべきだ。（文中敬称略）

東京のエトランゼ ⑨ トルコ

結婚は両親まかせ

姉 ナシア・クルバンガリーさん
妹 エニサ・クルバンガリーさん（米人商社秘書）

○…日本で生れ、日本で育ってはいるが、ナシア(二七)エニサ(二五)さんの姉妹は、れっきとしたトルコ娘である。トルコは"ウスクダラ"の国だが、その歌のとおり、この姉妹になら"トリコになったとき"ということになっても悔いないような美人である。横浜はメリノ・ハイスクールの出身で、現在は姉妹そろって米人商社にセクレタリーを勤めるオフィス・ガールである。父親のガブトリハイ氏は東京回教寺院の僧正で約三十年前に来日した日本びいき。

○…『日本は季節ごとに趣きがあって大好き』だそうで、日光は特にヨク・ギュザール(素敵)と大変な気に入りようだ。日本食も自分で作って週に二回は食べる。『日本は亭主関白といいますが、トルコも似てます。しかし日本人はマジメで世界に遅れまいと努力する姿が尊い』とおっしゃる。

○…日本のキモノ着ますかときいたら『とても大好き、下駄もはきます』と達者な日本語で答えた。

○…『ご結婚は?』と聞くとニッコリ、万事は両親に任せっきりといった様子で『やはりトルコ人と結婚しますワ』

【写真はピアノをひくナシアさんと仲よく見入るエニサさん(右)】

粋人酔筆

とんだ後日譚

宮尾しげを

私達のあいだでズボラさんという名前で通っていたAさんが、このあいだ死んだ。長いこと苦労をした細君と別れて、二タ月ほど前に若い細君をもらったばかりなので、その死はつかれ死であると、もっぱらの評判だった。

Aさんは六十を越していたが、細君は二十そこそこというから、その差のほどが知れる。デポホルモンでも愛用していたら、そんなこともなかったであろうが、まだ死ぬのには早いような気がする。もっとも若い細君をもらって間もなくポックリといった人に、私の知っている人でも、花柳小説を書いてその名の知られたMさん、通人でとおったRさんがある。いずれも新妻との年齢の差が二十ほど開いていた。

これでも知れるように、ある程度の差は若い同士なら兎も角、三十代と六十代との差は肉体的に見て非常な違いがあるようだ。男は六十代になるまでには、いろいろな仕事をしてきて、すでに肉体的につかれているものである。これが普通の人間である。しかし規格外もあるので一概にはいえないが、Mさん、Rさん、Aさんは、いずれもその系統の口であった。

Aさんの死が発表されると新妻のほかに、愛人が四人も名乗りをあげたのには、関係者がびっくりしてしまった。一人は五十代、あとの三人は新妻と友人関係にある若い人達で、Aさんが死ぬまで関係していた手芸学校の生徒であった。生徒といっても御隠居さんから奥さん、娘さんが交っているその中での娘さんクラスである。

ズボラさんというほどズボラのAさんだがこの手芸学校だけは、校長先生という椅子についていた。なにしろ女性相手の学校だけにAさんは決して生徒の作品に対して、褒めても、けなしはしなかった。現われた愛人三人は、揃いも揃って並以下の顔の持主であったので、きっとAさんの褒め言葉でコロリと参ってしまったものらしい。らしいというのは見ていたわけでないので臆測である。これは三人の愛人達の言葉によってうかがえる。

新妻、いや未亡人が三人の出現によって『あたし一人がこの世の中の救世主だといっておきながら、人もあろうにお友達のB、C、Dさんに関係つけていたとは、随分けしからん先生だわ。あんなひどい先生とは思わなかった。あたしも被害者の一人だから、これから先生を大いに恨んで極楽なんかへ行かせないようにしてやりましょう』という手紙を、三人に出したところ、『被害者といえば、そうかもしれないが、先生はあなたが思うほど悪人ではなかったと思います。そんなに恨まないで下さい。四人の友達の中でもあなたが一番幸福だったので、私達はうらやましく思っている位です』という返事がきたので、未亡人はタジタジとなった。そして『やっぱり死ぬ前兆だったのですね、前の二日間は私を一睡もさせないほど愛してくれたんですから……』とのろけみたいな告白をしていたそうだ。

Aさんが前の奥さんと見合いをした日は、Aさんが花柳流の名取になって、舞台で三番叟を踊った日であった。まだ新妻をもらわぬ前にF座のストリップのV子にぞっこんまいって、彼女に日本舞踊を教えこんで、日舞ショウのNO・1に仕立てた。そのV子に教えた踊りがこれも三番叟、そしてAさんが脳溢血で倒れたのが、なんとか教室の余興の三番叟を踊ったあとであった。めでたい三番叟で始まってめでたい三番叟で終ったとは、奇しき因縁とでもいえよう。

それにしても、あのズボラさんが女性を褒めてくどいて、ものにした手腕は、決してズボラではなかったわけである。ズボラを看板にしていたのを信用していた私達の方が、見る目にズボラがあったわけである。

職務にもどる

ア大統領退院挨拶

【ワシントン十一日発UP=共同】アイゼンハワー米大統領は十一日午後デンヴァーのフィッツシモンズ陸軍病院を退院、約三ヵ月ぶりにワシントンに帰還した。ア大統領は空港につめかけた人々に微笑をふりまきながら独りで飛行機から降り、つぎのようにあいさつをした。

多勢の方々が出迎えに来て下さって心から感謝します。思ったよりは少し長びきましたが医者が完全放免とまではゆかなくとも"仮出所"を許してくれたので喜んでいます。無理はできないにしても私は大統領の職務にもどることになると思います。

【写真は元気よくマミー夫人と飛行機から降りるア大統領】（AP電送=共同）

市況

ジリ高歩調

緩慢ながら大証券買が続いているので地合は堅調味をうしなわず休日控えの市況は概してジリ高歩調をたどっている。特定株は買物一巡の形となって商内は薄れ、ほとんど一～三円幅の小浮動を繰り返した。

雑株はきのう反発したもののうち二、三売られるものもでているが商事、石油、化学株などの一部が野村の積極買で小高いほかほとんど全般に小口買が続いて小確りのものが多かった。

▽高い株=凸版、東輌工七円、住商、三井化、昭石、帝国臓器、興亜油、磐セメ、第一汽船五円、台糖、三井物、田毛、王子紙、日立工、日産化、三油合成、日鉄鉱、藤田興四円

▽安い株=東宝五円、三井不、神崎紙、八欧電、太平洋海運、川崎車輌四円

東京株式仲値 □新株落 △配当落（12日終値）

特定銘柄							
東海上	240	日立	77	三菱鉱	51	台糖	257
郵船	58	東芝	64	古河鉱	—	明糖	116
新三菱	72	三洋電	—	同和鉱	137	甜菜糖	120
日清紡	256	松下電	170	住友炭	—	野田	209
味の素	297	八電	186	三井山	58	森永	174
三越	283	東洋紡	169	北海炭	64	明菓	—
三菱地	484	鐘紡	—	日鉄鉱	395	日水産	100
平和不	214	富士紡	121	商船	44	昭和産	118
日東化	101	大日紡	—	三井船	46	東洋醸	92
日産化	97	日東紡	72	西武	—	合同酒	150
三菱化	124	片倉	32	藤田興	215	三楽	139
三井化	163	東邦レ	130	飯野海	56	大阪糖	—
協和醗	138	帝麻	36	日銀	—	三井物	165
東合成	153	中織	44	東銀	55	第一物	151
三共薬	171	帝人	170	三井銀	—	白木屋	—
信越化	—	東洋レ	219	富士銀	—	高島屋	105
東高圧	163	三菱レ	145	日証金	—	大丸	293
昭電工	122	倉レ	141	安田火	94	日活	72
日本曹	102	旭化成	400	大正海	86	松竹	209
旭電化	—	山陽パ	153	住友海	80	東宝	—
三菱造	92	日本パ	125	千代田	—	大映	172
三井造	128	国策パ	146	東電	615	王子紙	243
三菱重	62	東北パ	137	関西電	665	十条紙	285
石川重	90	日毛	—	鋼管	85	本州紙	94
精工	134	帝石	100	日製鋼	71	三菱紙	86
東洋ベ	121	日石	117	八幡	62	北越紙	64
日立造	57	昭和石	174	富士鉄	57	日セメ	155
浦賀	—	東燃	158	神戸鋼	55	磐城セ	270
日本光	136	三菱石	158	日特鋼	104	小野田	89
キヤノ	160	大協石	165	日軽金	164	富士写	153
理研光	—	三井金	111	日金工	75	小西六	109
三菱電	85	三菱金	115	日本粉	—	横浜ゴ	145
		日鉱	—	日清粉	124	旭硝子	172
		住友金	116	日本ビ	172	三井不	789
				朝日ビ	187	三井倉	82
				キリン	—	渋沢倉	80
				宝酒造	126	東洋埠	205

ないがい川柳 吉田柊司選

民放は憎しいところで菜の名　福島　佐々木正文

おでん屋で野良着がもてる十年目　中野　高野芸太郎

酔っている間生活苦を忘れ　荒川　紫雲亭

駄々ッ子が一人献章捨てちまい　墨田　積谷三十越

再婚の話へそうもなりたい気　市川　川崎火呂志

満員車車掌如才なく詰める　横浜　市野三七

【賞】性別によって産婆のちがう世辞　荒川　松永真

内外抄

新党の政策がやっときまる。見事に画いた絵の餅、あべこべに人を食ったもの。

◇

『南千島』と『日比賠償』とで両党が顔を立てあって合同押し切りへ。『後で何とかなるさ』

◇

今度はブラジルで陸軍がクーデター。軍閥の幽霊『まだまだ引込むんじゃない』

◇

五本のヤミたばこに五年たってやっと最高裁が無罪の判決。とんなのが日本の裁判。

◇

東京駅前に建った『愛の像』口惜しそうに天に訴えてるようみえるのはヒガ目か。

青春無宿 (186)

大林清 作　下高原健二 画

虹への道 (三)

『ほかの電話にしたらどうだ』

女中の電話が長びいているので、塩田が見かねたように次郎へ云った。

次郎もジリジリしていた。光悦へかける電話は、五分や十分おくれたところで何のこともないが、今の少年の言葉を信用するとすれば、光代は次郎がすぐ行かなければいなくなってしまうというのだ。

『公衆電話にしよう』

次郎は思いきって万宗の裏口をはなれた。三十間堀の角にはたしか煙草屋の店頭に、公衆電話があったはずだった。

んで、気ぜわしくあたりへ眼をくばった。光代はおろか、それらしい女の姿さえ見あたらない。

と、その次郎の背後に誰か立ちどまる気配がした。

ふりむいた次郎は、それが赤目の西をまじえた三、四人の愚連隊なのを見た。

『コドモをよこしたのはお前たちだな』

光代の名を餌にしただけだと直感したので、次郎はそう云い捨てるのといっしょに、塩田のあとを追おうとした。

『ちょっと待ってくれ』

相手はすばやく行手に垣をつくって、西が一歩前へ出た。

走るように急ぐ次郎に、塩田もついて来た。

三十間堀の埋立跡には新しいビルが建っていて、その手前角に銀座の店にしてはむさくるしい中華料理店があった。主としてこの辺の商店員などを顧客にしている中華そば専門店だった。

車や人の往来が多いので、見わたしたところ、どこに光代がいるのかわからなかった。

塩田は少年と次郎の会話を小耳にはさんでいたらしく、反対側の角の煙草屋に公衆電話をみとめると、そう云って次郎の返事を待たず、大股にそっちへ横切って行った。

『誰か君を待ってるんだろう、俺が電話を呼び出してみよう』

次郎は中華そば屋の角にたたず [illegible]

『昨日からお前さんを待っていたんだ。今までのことは水に流して、トモダチとして相談してもらいたいんだ』

西はへつらうように笑いながら、何か魂胆ありそうに下手に出た。

『いそがしいからあとにしてもらおう』

押のけようとした次郎の腕を、西の横にいた男がつかんだ。名前は知らないが、いつも見る顔だ。

『話は簡単なんだよ、宵の口にこんなとこで会おうってんだから、こっちは手荒い真似をする気なんぞないんだ。ちょっとそこの飲み屋へ顔を貸してくれないか』

その男が云った。

『簡単なことでしたまえ、君たちにつきあっている暇はない』

いつ一発見舞ってくるかわからない相手なので、次郎もむろん油断はしていなかった。

『今朝まではブルドックの六が俺たちといっしょにお前さんを待ってたんだが、この話は六がいたんじゃァ具合が悪いんで、わざわざここまでお出ましを願った訳なんだよ。アパートの前だと、ヒョッコリ六の奴がやって来ないとも限らないんでね』

赤目の西はたしかにいつもと調子を変えていた。

吉田派"時"をかせぐ
公選期に再分裂か

鳩山総理　緒方自由党総裁

『なにがなんでも十五日に結党大会を挙げる』という七日の四者会談の申合せで保守合同劇の大勢は決したといえる。消息筋にいわせると総裁問題はすでに七日の四者会談で『代行委員制』に大体話しがついていた。そして九日夜、緒方総裁の決意で勝負はきまった。いまや来年[illegible]"戦"への体制固めに入ったというわけである。一進一退の合同劇も[illegible]派』を大きくゆすぶったことは否めない。

[illegible]ず折れた。吉田派は必ず汚職が出る。くさしょになるのはご免と突っぱっていたが、[illegible]に出て代行委員制反対をいるものの、結局は民主党旧改進系革新派と同様、決戦"に持ちこむ肚を固め"公選"によって時を稼ぎ[illegible]回を策しているといった情のようだ。革新派の[illegible]武夫氏は『十一月には[illegible]

新党はできるよ』といい、松村文相は『スフィンクス的新党がね』と新党の性格を皮肉り、合同の前提条件だった筈の『重要政策の一致』はほとんど口にしない。したがって『合同』は成ったも同然である。しかしこれは『暫定新党』でありこれからが問題だ。来年四月と目される"公選"の時期は、ふたたび"保守分裂"の時となる公算は極めて大きい。旧民主党幹事長のいう『日本政治史上はじめての保守合同』と手放しで喜ぶのはまだ早いわけだ、これからは各派それぞれ"アジト会議"を一層活発にし勢力増大の作戦が練られることとなろう。

合同劇の舞台裏
政治は夜つくられる

写真右側上から金田中（築地）山の茶屋（赤坂）新橋クラブ（築地）左側上からつか野（芝）志保原（高輪）亀清楼（柳橋）

隠れた花のお城で
密議こらすサムライ達

○…政治は夜つくられる。保守合同劇もその例に洩れず結構待合や料亭が利用されている。もっとも会合にはあらかじめ『オシ』という暗語が使われている。師の意味にもとれるが実は『今晩はおしのびで…』ということだそうだ。そこで各派のアジトだが民主党では南条徳男、三好英之氏らが重役におさまっている赤坂の"中川"を依然としてよく使っている。若女将が自殺してからは造船疑獄の時のような派手な騒ぎはなく、秋はしんみりと、てな調子で酒杯を傾けコソコソやっている―。世の中は皮肉なもので、若女将が死んだその日、衆議院食堂の常盤家が同じ赤坂で待合を開業し議院食堂同様ツケをきかせますからどうぞと宣伝し案外利用されている。

○…合同劇の主役者でありクセモノといわれている岸信介派が集るのは弁慶橋の『清水』だそうだ。ここには自由党々人派の連中もよく顔を出し、なんのかのとだべって花をさかせている。三木運輸相を中心とする旧改進党系合同慎重派は、赤坂といっときこえはいいが元国協党本部の三木事務所に集り、ウィスキーなどをのむので『三木バー』の別名がある。御大の三木氏がアルコールの方は余りいけないので、お頂戴したウィスキーをここで振舞うワケだが、アルコールが入ると『三木バーなんてお色気もなくつまんネエ…』ということになり第二のコース築地新橋クラブへ流れる。お隣りには彼の有名な金田中がある。ひんぱんに政界人の自動車がとまるところをみてもアジトであることが想像できる。――

岸信介氏

三木武夫氏

三木武吉氏は都内到るところに顔を出しているが、その中でも神楽坂の松ケ枝とは古いくされ縁で、松ケ枝の姐さんに『狸はこないかい―』ときこうものなら『家の大切なお客サマをつかまえてタヌキとは何事ですか―』ときめつけられるからおそろしい。

三木武吉氏　河野一郎氏

○…次に合同劇に直接間接に関係してくる御大達のスペシャルアジトを御紹介しよう。まず河野農相は芝公園内に『つか野』がある。『あそこの雰囲気がトテモいいんでゆったりできるよ、丹前でくつろいだ気持というんだろうな―』と仰有るほどのごひいきぶり―大麻国務相には東劇裏の"秀花"があり、一万田蔵相には銀座交詢社横の"松山"がある。この"松山"は日銀総裁時代からのアジトで『日銀から金を引っ張り出すには一度はここで宴会をやらなねばならない』とまでいわれたところである。岸幹事長は赤坂の"玉の家"で、秘密を要する話は専らここを利用している。

池田勇人氏

○…ところで自由党首脳部はよく渋谷の緒方総裁の公邸に集まる。ここに集まっている分には金もかからないし、世間からもとやかくいわれないわけだが、緒方総裁には別に柳橋の"亀清楼"と"柳光亭"があり、また高輪の"志保原"もよく利用されている。赤坂の"川崎"は船田中、犬養健氏ら中間派が利用し、大野派など促進派や民主党岸系の面々もよく集まっている。自由党における『待合の雄』は何といっても大野伴睦氏であることは自他？ともに認めている。その大野派がよく集るのは赤坂の"山の茶屋"だが、ここの女将と大野氏はごくネンゴロな間柄と評判はうるさい。大野派はこの他同じ赤坂の"星ケ岡茶寮""もみぢ"などもよく顔を出している。

大野伴睦氏

○…益谷衆院議長と赤坂"酒井"との関係は知られ過ぎているのでいわぬが花―ちょいと横道にそれるが小笠原元蔵相と池田勇人氏、遠藤柳作氏の間に女将リレーというのがひところ話題に上った。なんでも小笠原氏が行つけの千代田クラブ女将が池田氏に鞍をかえ、池田氏がこんどは遠藤柳作氏の懇意な待合の女将のスポンサーになったというややこしい話なのである。吉田派のアジトは表面世田谷の佐藤栄作氏邸とされ、池田勇人氏邸にもよく集まるが実は築地の"山口"が作戦本部といわれている。ここは吉田ワンマンがこりんちゃんと馴染になった由緒ある家で、今もなお引き続き吉田派の愛顧を得ている。

佐藤栄作氏

女将もひと役
お手打ちの仲をとりもつ

合同劇には微苦笑するこぼれ話もある。これはその二つ、三つ――

民主党の河野農相と自由党の山口喜久一郎氏は年来の宿敵だが、たまたま河野氏がネンゴロにしている"つか野"の女将と山口氏がジッコンにしている某待合の女将とは元同じ待合の芸妓という関係から――"つか野"の女将が河野氏と山口氏のワダカマリをうまく取り除くことに成功した。その結果今では『河野―山口ライン』などといわれるようになった。一時河野氏は、山口氏に自由党の切りくずしを依頼し、山口氏はこれを承諾したというデマも飛び、おかげで山口氏は自由党の執行部からつるし上げられた一幕もあったようだが待合の女将が取り持つ縁で合同劇も意外なところに発展しないとも限らないというもの。

山口喜久一郎氏

さる七日、昼の四者会談は民自双方から妥協的気運が出てきわめて重大な局面となり、夜再び四者がグランド・ホテルに集り、事態の収拾をはかることになった。定刻、岸、三木、石井三氏は集まったがどうしたわけか大野氏が現れない。やがて小一時間も遅れて大野氏が自動車で乗りつけてきたが、例の赤い鼻をさらに赤くして腰も定まらないほど酔っている。とに角話合いをはじめようということになったが、酔った大野氏の大声が隣に待機している新聞記者の耳にも聞える始末で、とうとう四者会談はお開きになった一幕がある。大野氏がどうして重大な会談を前にこんなに酔っぱらったかというと、昼の会談終了後旧"御三家"の相棒、林、益谷両氏を弁慶橋の"清水"に招いて飲んだ。席上大野氏は『保守合同は至上命令だが君たちは反対なのか、反対なら一時間以内にぶっつぶしてみせる』とタンカを切り、林氏と大いにやり合い、あげ句の果てがヤケ酒という次第。"御大鳩山"にそむいた"忠臣伴睦"氏はこんどは合同促進の急先鋒で、第二の主君吉田ワンマンにそむく結果となり『忠ならんと欲すれば……の心境だろう』と三木武吉氏が慰めたという話も伝わっている。

お台所は誰がもつ？
羽振りよい河野、岸氏

◇新党結成準備会の予算は民自両党がそれぞれ百五十万円ずつ持ち寄り、計三百万円で発足したが勿論それだけでは足りるはずがない。これでは四者会談に使われている"グランド・ホテル"への払いにも足りない。では舞台裏で使われている金はどこから出るのか――

◇一説によると河野農相は四億の現ナマを用意して『イザ引っこ抜き戦になったら絶対自信がある』と豪語しているといわれ、この夏渡米前に鳩山邸を訪れ、薫子夫人に『当座のお小遣いに…』といって渡した金がなんと一億円だったという。河野農相の手許金はまだほとんど出動しておらず、各派の待合"会合費"は専ら岸幹事長の懐から出されているという。保守合同の"大義名分"によって岸氏のポケットはこのごろとてもあたたかく、イザ鎌倉には資金面は俺にまかせと絶対自信の程をみせているとのこと。

◇一方自由党の池田勇人氏もこれに負けずに軍資金の蓄積に余念がない。先頃元代議士で骨董の鑑定では"日本一？"を自認している松尾邦三氏が池田邸にある骨董品をみて、金額にしたら少くとも時価二億円はあるよ…と太鼓判を押したとか、そこで吉田派では『現ナマはなくとも骨董を総出動して鳩山派をアッといわせてみせる』と張り切っているそうだ。しかし在野一年ともなれば手許不如意は深刻、"実弾戦"では劣勢を認めざるを得ないようだ。

風流世界譚
……（パナマ）……

一代の栄華を極めたアルゼンチンのペロン前大統領も、革命以後は追われ追われて、パラグァイからいま第二の亡命先ニカラグァに向う途中、パナマに滞在しています。ところが、豪華なエル・パナマ・ホテルに乗り込んだまではよかったのですが昔と違って"持つもの"を持たない昨今のペロン氏たった二日間の宿賃が六百ドルと聞いてはビックリ。そそくさと安いワシントン・ホテルに引越してしまいました。そこで"野獣の権力"なる本を書き上げ、印税でかせごうとの方針をたて、日夜執筆にいそしんでいるのですが、どうにもはかどりません。『どうしたことじゃろか』とパナマの月を仰いで嘆息しきり。やはりアルゼンチンへの望郷の思いに駆られている様子なのです。この姿をみた部屋付女中のバーナ嬢『お気の毒に、慰められるなら慰めてあげたいもの』とこっそりベッドに忍び込みましたが、飛び上ったのはペロン氏『よしてくれ、これ以上部屋代が高くついてはかなわん。それに"女獣の権力"はこりごりじゃよ―』

モダン歳人記
法官夫人の姦通

明治六年十一月十三日の東京日日新聞に『主婦僕従と姦通の事』という記事がある。司法中検部山田直矢の妻松尾は十四の時に直矢に嫁したが、下男の尾州生れの長国と親しくなり、直矢が病身なので、つい夫の留守に関係を結び長国は直矢によって暇を出されてしまった。その後長国は麹町の八百屋に下宿していたが、松尾は度々訪ねて、泣いたりおどしたりして彼の気をひいた。長国は旧主の恩義を感じながらも、たってのことに懐中から毒薬を出し、直矢を亡きものにした上でと語った。

たまたま直矢は心持悪く役所から帰り床についたので松尾はその薬を煎じて服用させた。すると急に吐気を催してきたので、医者を招いたりした。

丁度そこへ下女を呼びに来たものがあり、出て見ると、長国からの使いである。松尾は風呂に行くといって外に出て、彼と語り、先日の薬をも一度『試して見よう』と約束した。七月二日の夜夫の寝入るを幸い、松尾が艶書をしたためていると直矢がガバと跳ね起き、その手紙を奪いとり、この奸計は露見し、懲役一年の刑に処せられたというのだ。（鮭）

あすの運勢
十一月十三日　高島象山

▲一月生―物事自由に進展し目的叶い願望成就あり開業移転結婚吉
▲二月生―物事不如意にして不結果を生じ易い他人の世話事は禁物
▲三月生―秩序が乱れ心気は動揺し災禍を求む身内親類に病気不和
▲四月生―何事も順調にして利達栄昌あり積極的努力よし開業よし
▲五月生―依然として盤石の如く物事進まず不満不平起り易し注意
▲六月生―進退を誤り性急にして失敗を招く或は他人より迷惑掛る
▲七月生―次第と運気立ち順調に進展する商売取引円満なり開業吉
▲八月生―物事に疑心暗鬼を生じ自ら失敗を招来し易く努力
▲九月生―怠慢より失態を生じ御情で事を破る慎重に進退す可き也
▲十月生―堅忍不抜の精神を以て一意努力すれば目的順調に栄進す
▲十一月生―何事も軽挙妄動して失敗あり或は他動的不意の災い有
▲十二月生―物事不振で四面楚歌の声をあびるなり病気盗難を注意

◇お断り　『自由の女神の袖の下』休載します。

東海毒婦伝
青とかげ（127）
野沢純　土端一美画

箱根馬子唄（八）

西陽はもうすでにとっぷりと、西の端に暮れはてている。

おのが手で、殺めた男の死骸が横たわっている庚申堂へ、気丈にもおりうは再びとって返した。

縁に上り狐格子を押し開けると、ぷうん……と血なまぐさい匂いがした。闇をすかすと、黒い影はまだ最前の位置に横たわったままである。

動くのではないか――とさえ思われた。落した財布は見あたらなかった。その代り、死体に触れた。すでに冷たくなっていた。

闇間手さぐり――おりうは這うようにして、男の体をさぐってみた。指先が胴巻の一端に触れていた。

最前おりうを押し寝かした時、ふところにのんでいた九寸五分は、邪魔だとばかり放り出したが、胴巻だけは後生大事に放さなかった。

仰向かせたおりうの体へ、おっかぶさる時、意識して胴巻を、横にずらせた事を、あの場でおりうは知っていた。はからずも、それを今になってふっと思い出したのである。

ヤマメは蛇を食うという。蛇はヤマメを食うという。どのみち、食うか食われるかである。

おりうの手は、白い蛇のように這い伸びて、死体の腹の胴巻を狙った。

冷たい腹に触れながら、結び目を、やっとほどいた。

あとはずるく。

俯向いたまま、固くなって死んでいる男の体を、一度ごろりと寝返りを打たせた。そうしなければ、胴巻が抜き離れないからであった。

お直とは又、違った度胸だ。殺しを境にして、昨日までの娘ごころは、鬼神か悪鬼羅刹に化していた。

取り出すと、ずしりと重い。

東の山に、匂うような月がのぼった。その月あかりに、すかして中を改めると、小判でザックリ八十両あまり。思いがけない大金である。

天の恵みか――おかげで怖さも暫く忘れた。悪の刺激と戦慄が、美酒の如く胸に沁みた。はじめて鼠を捕った猫の境地でもある。

別に小粒入りの財布が出て来た。用心のいい仏である。

それほどの用心をしていながら、女蜂の針を忘れていた。情欲のあさましさである。

胴巻はその場にすてて、中味の金だけ、しごきの中へ包み込むと帯の間へしっかり巻きつけ、おりうは再び、もと来た裏山道へ引返した。

『殺し』に加えて『関所破り』その上『盗み』の罪をも、一夜のうちに重ねるに至ったのである。何もかも、ほんのわずかなキッカケからだった。

昼なお暗い裏山道は、月が出たとて、夜なお暗い。途中狼が出るかも知れない。怪態に逢うかも知れない。

しかしこの場合、おりうにとっては、なまじ人に逢う方がよっぽどはるかに恐ろしい。人気なき暗い道こそ、身の安全というものである。

杣道づたいに、闇の中へと消えて行く、おりうの姿に、時折梢の月影が、淡く微かに照らしていた。

東京漫歩

フランス調のバー
池袋西口・枯葉

池袋唯一の本格バーといえば、今では誰でも『枯葉』だという。西口、住友銀行を右に入ったあけぼの小路にある店だ。入口から内部まで、その建築設計はクラシックな感覚で統一され、ランプ風のスタンドからもれる光りも柔かく落ついている。カウンター、ボックスも一流なら酒はスコッチを始め外国の有名品がズラリと並ぶ。一口にいえばフランス調豊かな店なのだ。

高級バーだが値段は安いし、十人ほどの女性も高雅な香りに満ちているような、美しい人ばかり。ビール二〇〇円、トリス級の値段でうまいハイボールを飲ませてくれる。

魚河岸直結の新鮮さ
大井町・呉竹鮨

魚河岸直結とは名ばかりで、実は築地あたりの店から種をこっそり仕入れてくる。こんなすしやの多い中で、遠さもいとわず毎朝河岸へ自から行って新鮮なのを選んで来る鮨屋さん。それが大井駅西口前『呉竹鮨』のアルジである。

四人の店員もしつけがいいとみえてみんな清潔で親切だ。すしは"寿司"と書くは誤りで"鮨"というのが本当だ。第一魚を食べる料理だからと、営業のみか握りは勿論、シャリの炊き加減、酢加減にも並々ならぬ細い神経をみせてくれる。最近メキメキ発展した大井町界隈で、特に名を挙げた鮨屋さんである。

東京一安くて良心的な宿
一時間50円の池袋『貴美』

50円では銀座、新橋なら珈琲も飲めぬ。ピース一個買ったら五円のツリ銭である。今どき50円が単位のものなど殆どないが、池袋西口常盤通り常盤湯前の旅館『貴美』は50円単位の宿として有名だ。

つまり一人一時間の休憩料が50円。二人二時間でも二百円というからケタ外れの料金だろう。安かろう悪かろうでは意味はないが、和洋室大小三十余、新築で木の香も新しく、設備、調度にもなかなか金がかかっている。泊りは二百円と三百円。二人でゆっくり出て湯の気分を味わっても、五百円札一枚でOKというこんな宿が他にあっただろうか？　けだし東京一安く良心的な旅館といっていい。

くじら料理のうま味
トンチの巣・渋谷くじらや

鯨肉は臭いというは俗説だ。ここと服部流割烹の家元、服部道政先生手ずからのくじら料理ともなれば、牛や豚とはまた違ったうま味をみせ、臭みは愚か、これが鯨肉とは誰にも信じられぬ程になるから不思議だ。

これが食べられるのは東京唯一のくじら料亭、渋谷栄通り渋谷大映向いの『くじらや』である。トンチ教室の石黒敬七旦那や抜天さん、豊吉さんなど、暇があればここで栄養をつけているとはもっぱらの評判だ。特にうまいのは名物からあげ。独特の仕込み味でさらに風味もあり石黒旦那の大好物。その他さしみ、くじら汁、さらし酢味ソなど一品50円とはとても思えぬ味だ。

二十世紀のアダムとイヴ
新橋・女神の像

東京中の女性の中から選んだといっては少々大げさ過ぎようが応募二千名の中から数次に亘って選考を重ねた選り抜きの美女群。サット40名の女性はまさに生けるヴィーナスだ。場所は新橋烏森通り。その名もロマンチックな新興喫茶サロン『女神の像』である。珈琲60円。ビール（小）一〇〇円で、踊るも自由。

整形外科に画期的な発見
組織注射の方法に成功した東京整形外科

整形外科の名が人々にもたらされたとき、それはあたかも20世紀の創造神のような讃仰と憧れの響きをもっていた。事実、生れつきとあきらめていた低い鼻、鷲鼻やだんご型の鼻翼などが、ギリシャ的な端正で美しい線をもった彫刻美に生れ変わり、とかく冷たいといわれる一重瞼が、チャーミングな二重瞼になれるとしたら、美に敏感な女性たちにとって、創造神の再来とまで思われたのは当然だった。

しかし、間もなく陰惨ともいうべき結果が現われた。鼻筋に入れたパラフィンが変質して化膿したとか、或いは象牙位置が狂って鼻が曲ったとか、予期しなかったこれらの結末に人々は了然ともし又絶望した。しかも、そこには高い費用と、十日も一ヵ月もの通院に忍んだ苦痛等々今となってみればあまりにも高価な代償が払われていたのである。整形外科の信用は地に堕ち、20世紀の神話は一編の夢物語りとも化してしまったというのが、初期整形医学の実情だった。

こうした中で、従来の整形医学の欠陥に鋭いメスを入れ、あらゆる困苦に耐えて研究に研究を重ねて、遂に全く新しい方法を発見した一団の人々がある。増田豊氏を陣頭とする東京整形外科医院（中央区日本町八重洲三ノ一）だ。

新しい方法とはわずか四、五分で本人の希望する通りに整形出来る組織注射である。一本のメスも使わず、もちろん血を流すことなく、その上費用も従来の半分ですむというこの方法が学界に発表されたときは、専門医家もその優秀さに瞠目した。

くわしくいえば、薬液注入でくぼんだ頬を高め、あるいは鷲鼻を矯正し、またはむごい鼻翼を美しくするのだが、注入した薬液が体内に吸収されるとそれと同量の肉質が自身の力で盛り上って、生来のものとまったく同じ肉体に変化するというのがこの組織注射の原理である。

この方法によれば、仕事の合間を見て短時間で整形を受ける便宜はもとより、手術の必要もなく後日変質、化膿する恐れも皆無。異物など挿入しないからその美しさも極めて自然である等、あらゆる点に優れている。もちろん鼻のほか乳房、耳たぶ等にも応用出来る。

オートメーション時代の花形

〝計数センター〟来春店開き

パチパチとソロバンをはじくのは古いと珍商売も色々とあるが、これに代るオートメーション化の計算屋という新商売が近く登場する。これは難しくいえば『計数センター・F電算機計算所』米国では流行のトップを切っているが、わが国では初めてのもの。この新商売の内容は例えば会社でソロバンはモチロン、からに従来のタイガー計算機を使って昼夜ぶっとおしで二百四十日間かかる複雑な計算をこの計算屋の機械を使うとわずか四時間で『ハイ、ゴメイサン』とくるからまさに計算機の画期的なもので、オートメーション時代の花形といえよう――。

【写真は目下作製中のF電算機の一部】

能率は算盤の百倍
決算期徹夜の悩みも解消
買われた〝電算〟の威力

○…この電気計算機は米国では大会社になるとチャンと一つぐらいは備えつけているがわが国では費用が数千万円もかかるところから手がでなかった。ところが昨年F通信機が『継電器自動計算機』を作製し、その性能調査をすると各方面から数値計算の依頼が殺到した。この需要の多いことに注目した同社では『もっと高性能の機械を作り、サービス業として有料数値計算をやったら』と昨年十月以来一年間にわたって利用者数の調査を行った結果、その見通しもついたので来春には機械の据えつけも終り開店することになった。

○…利用者の申込みは目下、各官庁、研究所、工業関係会社でその性能は決算期に三日も徹夜をする計算でもタッタ十二、三分もあれば十分で、人手を用いる計算の百倍以上の能率を持っており、記憶装置も百八十の計算結果をそのまま記録しておける代物である。中でも会社の決算期の困難な計算などはこの機械では朝飯前とあるからこんご大会社の利用もグングン増えるものとみている。

○…また造船界も設計に要する時間が短縮されて納期の遅いために注文が取れないという心配も解決されて、輸出に一そうの馬力がかけられ、天気予報も数値予報を採用している結果、台風の進路予報などもこれで早く正確になるわけである。

○…学術関係でも計算の必要な研究発表の予定が従来ならば来春になるべきものが、この秋に発表することが出来るといった具合、またこれで経費も一割は節約できるというから産業の発展と学術の振興などに驚異的な役割を果たすものと、各界での話題を集めている。

報いられぬ少年の真心 豊作悲話

折角作った七万円
姉を特飲街から救いたい一心
すげなく断られて放浪

これは豊作がうんだ美談でもありまた悲劇の物語り……。実りの秋の供米前渡金で特飲店に身を沈めている姉を救おうとした農村の純朴な少年が『私は既にけがれた特飲街の女になったから……』と血をわけた姉に無下に断わられ、暗い気持で東京駅をはいかいしているところを、東京丸ノ内署員に十二日保護された。主人公の少年は熊本県熊本市秋津町沼山津農業中村吉夫君(一九)=仮名=で以下は同君の身辺に起きたいくつかの波乱と感受性の強い現代少年の一断面――

終戦間もない二十一年一月母親を失なったこの少年は、それから五年後の二十六年六月に父親とも死別した。一家は、姉のいつえさん(二三)はるえさん(二一)弟の幸広君(一七)の四人暮しで、長男の吉夫君が中心になって残された田畑一町八反を農耕していた。付近でもよく働く仲よし姉弟として評判が高く、親はなくとも子は育つのたとえ通り姉弟四人はお互いに助け合い、励ましあって、楽しい毎日が続いていた。

ところが突然、それも理由もいわず次女のはるえさんが家出してしまった。昨年四月のことである。姉弟三人ははるえさんの行方を八方手をつくしたが、どうしても判らなかった。

そうして一年半たった今年の十月友人からはるえさんが吉夫君の家から四里と離れていない熊本市二本木の某特飲店に働いていることを教えられ、去る十月十三日友人に連れられてはるえさんの店を訪れた。はるえさんの仕事がどんなものであるかを知っていた吉夫君は『一刻も早く足を洗ってくれ』と泣いて頼んだ。すると『自由の身になるには七万円の前借金を返さなくてはならない』ときかされて暗然としてしまった。だが『何とかして姉さんを救おう』と決心した吉夫君は姉のいつえさんと相談、米十俵を供出して三万円、三十俵の供出予約金三万四千円、そして、姉弟が汗を流して貯めた預金二万円を全額下して、十一月七日はる子さんを引取りにいった。ところが、はるえさんに『何しに来た』といわんばかりの冷い態度だった。『帰ろう、家へ帰ってくれ、姉さんや弟たちが待っているから…、金はこの通り用意して来た』と姉弟愛のこもった吉夫君の言葉に『余計なことはやめてよ、帰りたい時には勝手に帰るから!』と追い返した。

一年近い特飲街の生活が、かくも姉さんを〝荒んだ人〟にしたのかと思うと吉夫君の胸ははりさけそうになり、ボクがこんなにしてやる気持も知らないで…とひねくれ、その足で博多の遊廓へ出かけ『姉さんの馬鹿、姉さんの馬鹿』と叫びながら吉夫君は酒をあびるように飲み、姉弟の愛情をふみにじったはるえさんに復讐するようにその晩は遊廓に泊ってしまった。

一回脱線すると、すぐには元に復しない。二日間というもの、酒と女に浸ったが、吉夫君は『みんなで蓄え稼いだお金をこんなことをしていてはいけない。』と思いついた時は既に七万円の半分以上もつかってしまっていた。帰ると約束したはるえ姉さんも連れずにおめおめとは家に帰れない。どうしたらいいんだろ――』追われるように東京に出てきたところを保護されたのだが、少年の姉を想う真心は保護した係官の胸をホロリとさせ、とりあえず実家へ電報で連絡することになった。

皇太子さま後楽園へ

皇太子殿下は十二日午後、仮御所を御出門、皇居においでになるが同二時二十五分義宮様とともに皇居を出られ、後楽園球場でオール・パシフィック対ヤンキースの試合をご覧になり午後四時ごろお帰りになる。また義宮様は同日午後四時四十五分、皇居を出られ東京会館の第七回全日本中学英語弁論大会レセプションに出席される。

煙突の見える屋上

冬のプロローグ ②

○…力いっぱい吸い込んだ空気がシュンと胸にしみるような冷たさになって、ビル街の屋上でバレー・ボールに興ずるオフィス・ガールたちは〝北風のおじさん〟の訪れを知る。そういえば桜色にポッと上気した頬をなぶる風も冷たい。

○…そこで官庁街は早くも〝冬の装い〟ストーブのエントツを立てはじめた。ここ厚生省では八日朝から九日朝にかけて徹夜でエントツ作りをはじめ、約二百本が高く窓を伝って屋上にカマ首を並べている。

○…このエントツから黒い煙がムクムクと吐き出されるころはもう本格的な冬。屋上のスポーツもおしまいとあって、乙女たちは仲良しグループを誘ってとし最後のバレーを楽しんだ。白い指先から弾かれたボールは高く舞上って澄み切った青空にとけ込むような冬のハシリのひとときだった。

【写真は煙突が林立するビルの屋上でバレー・ボールを楽しむオフィス・ガールたち】

Eさん 342 石川進介

こんやのオカズなァに

コロッケよ

だって毎日コロッケ

コロッケばかり

そうさいお惣菜は公選にするか

手拭で縛り目隠し
運転手を突落す
小松川 三人組、車ごと強奪

十二日午前一時十分ごろ港区芝西久保桜川町二、興民タクシー運転手千葉昭三さん(二七)は江東区亀戸三業地から乗せたいずれも二十二、三才ジャンパーを着た三人組に江戸川区東小松川一の二三〇先まできたときいきなり殴られ、手拭で手を縛られた上目かくしされ売上金二千七百円、腕時計を奪われた。さらに三人組は千葉運転手を車外に突き落し空色トヨペット五五年型五一―六三五六三を運転、逃走したと小松川署に届出た同署で緊急警戒を行ったが午前十時現在車は発見されていない。

二人で殴る蹴る

十二日午前零時二十分ごろ文京区同心町三四国際交通タクシー運転手斎藤続さん(三三)は江東区の洲崎都電停留所から亀戸駅までの約束で酔った二人連れの男を乗せ、同区亀戸一の四先まできたところ二人はストップを命じ、車外に出て石を投げつけガラス窓をこわしはじめた。さらに車内に入りこみ斎藤さんに殴るけるの乱暴を加え、料金を踏倒して逃走した。届出により城東署員が間もなく現場付近で同区亀戸四の九四トビ職鈴木写三(二八)同区深川東陽町一パチンコ店員少年(一八)を逮捕した。

酔漢強盗逮捕

北区高砂町九四二工員川田年夫さん(三〇)に『俺の縄張りでねるとは生意気だ』とインネンをつけ殴るけるの暴行を働き顔面に二週間の傷を負わせ、川田さんのオーバーの中から質札を抜きとり逃走したが緊急警戒で逮捕されたもの。

インネンつけて強奪

赤羽署では十二日朝北区志茂町三の二九二九無職新井和吉(二四)を強盗傷害容疑で逮捕した。調べでは午前二時ごろ国電赤羽駅京浜線ホーム待合室で酔って寝ていた

お目見得泥50万円
旅館女中で荒し回りご用

大井署は十二日朝住所不定、無職詐欺前科一犯山崎チエ子(四二)を窃盗の疑いで検挙した。調べでは山崎は本年四月初め品川区五反田一の二五一富士旅館(経営者斉藤愛子さん)に子守女中として住みこんだが、同月二十六日家人の留守をねらって同僚の青木美代子さん(三二)のタンスの抽出しから現金五万円を盗みとったのをはじめ原宿浅草、両国などの旅館に女中として住みこんでは同様手口で十五件約五十万円の窃盗を働いていた。

婦人はねられて死亡

十一日午後八時ごろ板橋区大谷口町一一〇一無職大谷トメさん(四七)は同区板橋町四の一五四六先川越街道を横断しようとしたさい成増方面から来た同区成増町二五三東京印書館自家用車=運転手大塚正助(三五)=にはねられ頭部を打って近くの日大病院に収容されたが十二日朝六時ごろ死亡した。板橋署の調べでは大塚運転手の不注意。

あすのスポーツ

△野球ヤンキース対全日本(二時、後楽園)東京六大学新人戦(十一時、神宮)△陸上日本選手権派成競技(零時半、江東区電々公社競技場)競歩(九時、神宮)△レスリング全日本選手権(十時、青山レスリング会館)△ラグビー関東大学対抗(一時、秩父宮ラグビー場)△漕艇全日本小艇、カヌー選手権(十時、戸田)△庭球全日本選手権(九時、田園)△東京都高校柔道大会(八時、講道館)△アメリカン・フットボール日大対法大、立大対慶大(正午、神宮)△バレー・ボール慶大対関学他(十一時、田園)関東大学女子選手権(九時、お茶の水)△ハンド・ボール早慶戦(正午、後楽園競輪場)△競馬東京(十時四十分、府中)船橋(正午)

小便小僧にも七五三の晴着
浜松町駅名物・十五日にお祝い

○…十五日の七五三を前に国電浜松町駅の名物、プラット・ホームの小便小僧が十二日朝、早くもお宮詣りの晴着姿で、超特大の千歳飴を背にすまし返り、通勤のサラリーマンたちも思わずニッコリ、祝福をおくっている。これは小便小僧の生みの親、港区芝新橋三の二〇歯医者の小林光さんが、ちょうど三年になる小便小僧のお祝いに羽二重と仙台平のハカマを贈ったもの。

○…小林さんには五ツと三ツの愛児があり、それぞれ晴着を作ったが、小便小僧の晴着も特別あつらえ、菊水の紋付というコッたものだけに『子供一人分だけの費用がかかりました』というから、晴着をつくってやれない親たちにはヨダレがたれそうなもの。大喜びの駅長さん、十五日には五百人分の千歳飴を乗降のヨイコにお祝いとしておすそ分けしたいとハリキッている。

【写真は小便もストップしてすまし返る小便小僧】

時速42ノットの快速艇
防衛庁ご自慢の救命艇試運転

【横浜発】世界最高級のスピードを誇る快速艇がわが国にもお目見得、十二日正午から横浜市本牧沖でその試運転が行われた。防衛庁が三十年度予算八千万円で建造を急いでいた海上自衛隊用高速救命艇『YS04』がそれ。隅田川造船の製作、全長二十・一五メートル、幅五・二メートル、高さ三・四メートルのジュラルミン製流線型で排水量三十トン、乗員十名、千五百馬力二基と小型レーダー一基を整備、時速四十二ノットという高速。この日の試運転でも真っ赤なマストに黄色のブリッジ、純白の船体というスマートな姿に水しぶきを上げて快走、行き帰りの試験区間をわずか一分二十秒余りでつっぱしり関係者を驚かせた。

【写真は月島を出る同救命艇】

歌麿切手を増刷 郵政省

郵政省では一日から一週間切手趣味週間を開催、歌麿の版画『ビードロを吹く娘』を書いた大型多色刷りの十円特殊切手を五百万枚を発売したが、国内ばかりではなく外国からも希望者が殺到、発売二、三日でたちまち売り切れてしまったので今回に限り五十万枚を増刷十二日から東京中央郵便局切手普及課で発売している。増刷分は一般の局には配給しないので希望者は代金に送料を添えて同課へ申込むこと。

ふし穴

生き馬の目玉を抜くのが現代の商法。不景気ともなればあれやこれやの珍手奇手が生れるが……。

◇…世はまさに計器時代。電気アイロンにまで計器がつく時代とあってみれば、お化粧の測定機などが出現しても不思議はないか…最近化粧品屋の店頭に『貴女を科学的に美しくする方法』と銘うった機械が置いてあるのが目につく。金属性の測定板を顔にあて、それを電池に結びつけると、計器の目盛りが左右に揺れる仕掛け。右に大きく揺れた人は脂性だから油性の少いクリーム、中位の人は中性のもの…と効能書はいかめしいが何のことはない脂性の人の場合は電流の通りがいいので目盛りが早く動くだけの話。だが、美しくなりたいのは女の本能で、利用者は結構多く、そんな手合は化粧品をまとめて買って帰りますからとはイヤハヤ。

◇…先週のこの欄でアナウンサー学校のことを書いたら、早速いろいろな問合せが殺到した。その中には月賦住宅会社があったのにはオドロキだった。つまり『校舎を増築するような場合には是非御利用願いたいと思いまして…』というのである。その人はその社でも指折りの外交員で、新聞を隅から隅まで読んでいて、これは、と思うものがあったらすぐそこへ飛んで行く。『新聞に出るような人は得意の絶頂にある場合が多いから、うまくおだてると百発百中成功する』という。

◇…これはプロレスのアジア選手権試合が富山で開かれた時のこと。折から富山では世界動物博があって、日本には数少いゴリラがいるので人気を呼んでいた。ところが、プロレスの宣伝に曰く『ゴリラも軽くノック・アウトする人間キング・コング出現!』に当日は富山公会堂の超満員なのに対して、動物博はガラ空きだったとはウソみたいなホントの話。(赤)

続 情炎の千代田城

岩崎栄
寺本忠雄画
(297)

水ぬるむ（八）

このとき、伊豆作の入口へ、

『どけっ―こら』

ごろんぼ浪人の亀岡玄十郎だ。

一ばん最初に新井白石がこの伊豆作にいると知って、一ばんおくれていまごろ悠々とやって来たのだ。この男は無頼浪人の中でも、抜群の使い手だ。真心流紙屋門下で、鬼とうたわれた達人だったが、人間が出来ていなかった。出来ていないというより、低劣な性質なのだ。万人にすぐれた腕をもちながら、立派な武士としての生活を持ったことはなかった。刀にかけて、あらゆる不正不浄の金を稼ぎ、人生の暗い部分ばかりを狂犬のように流浪している男である。

扉の外の往来にも、土間にも、八百定道場の棒振り剣士男女二十人ばかりが、それぞれのえものを構えて、二階の方にかたずを呑んでいる。

『どけと申すに―なんだキサマなるぞ！』

『うるさいっ』

振り返りもせず、さっと片手をうしろに払った。

『おのれっ』

といったが、八百定はあがりガマチから、たたきの水がめまですっ飛ばされて、腰をいやというほど打ちあてたらしい。

『いやしくも、このヤロウめ』

口ばかりで、立ち上がれないらしいのだ。

階段の上から半兵衛が、

『やい、上って来たらいのちがねえぞ』

階段を途中で、振り仰いだ玄十郎が

『なんだ、そこにも町人が居るのか、さかな屋だなキサマ』

『へえ、さかな屋って、わかるのか、知ってやがるのか』

『向うはちまきで、ウロコの光るモジリバンテンなら、誰が見たってボテ振りだ』

『くそっ』

たち』

『なんだァなんだ』

エノ親方が十両を踏み出して、玄十郎の前に立ちはだかった。

『おまえたちはどうしたものかと訊いて居るのだ』

玄十郎としては、こんな町人を相手にする気持がないから、わりとおだやかな口をきいている。

『おいらァ、新井の殿さまが、荻原重秀というぬすっと野郎に、金で買われたそぞ浪人に斬り込みをうけていらっしゃると聞いて駈けつけたんだ。おめえさんはどっちだ、やはり野良犬のなか間か、それとも』

『うるさいっ』

どうしたのか、玄十郎がちょっと、腕を動かすと思ったら、エノさんが一間も先きの往来へ、ズデンドウと投げ出された。

『野郎っ』

『コンちくしょうめ』

エノさんのうちの若い向う鉢巻が二人、トビ口を振り上げて来たのを、一人をかわして跳倒し、一人のきき腕を取って、ねじ上げてっぱなし、『やいまて…』と飛び上って来た八百定の門をドシン！と片手につき戻し、二階への階段下に跳り込んでゆく。

『やいこの狼ヤロウ、待てと申すに』

八百定がうしろから、

『われこそは天下の両参千五百石

声と一しょに、湯の沸った鉄ビンを、頭からたたきつけた。思いもかけぬ不意打だったが、抜きかけた刀のつか頭で、カチンと払いのけた。それがいけなかった。熱湯が顔の半面から首すじ、腹の方まで流れ込んで、

『熱いっ』

今週の顔

中村翫右衛門

何でもこいの芸達者
―前進座に何をもたらすか―

猿之助一行が帰ってきたと思ったら、七日後には追いかけるように翫右衛門が〝栄光の人〟として日本の土を踏んだ。三年半ぶりの帰国である。

彼は当年とって五十四才、本名三井金次郎。先代翫右衛門の次男（長男・先代歌門）として明治三十四年一月東京で生れた。父は先代歌右衛門の弟子で芸達者だったが、門閥がないため若いとき血気にまかせて大芝居を飛びだし浅草の柳盛座で座頭として腕をふるった。だが倅が成長するにしたがい、これを出世させるためには小芝居では駄目だと考え歌舞伎座に戻った。そのため〝返り新参〟として三階（大部屋）の悲哀を味わい、息子たちもさんざん嫌な目にあった。こうした中で翫右衛門は五才のとき梅之助の名で初舞台を踏み、父の没後の大正十四年、先代歌右衛門の弟子として名題に昇進した。下回りから叩きあげた彼は、文字どおりの苦労人である。その点、前進座の両翼である長十郎が市川宗家とも関係深い河原崎座の大夫元という名門（故権十郎は長十郎の兄）であるのに比べると対照的だ。彼が翫右衛門を襲名後、猿之助一座に入りした。

り先代左団次と小山内薫の革新的な精神を更に展開させる流れの中に身を投じたのもこうして生れながらに身にしみついた彼の反撥の現われということができそうだ。

彼と猿之助の結びつきは古い。昭和劇革新を目指した猿之助が『春秋座』旗上げには中車らの猿之助一門と彼及び長十郎が糾合した座にこもっての作った折、急進分子としてこれに参加。つ間もなく失敗し猿之助一門が松竹に復帰す

六年五月、残党連が前進座を作ったわけ以来、長十郎と彼は劇団のリーダーとして上でも名コンビをうたわれて来た。前進座の立場は〝長十郎体制〟に〝翫右衛門の…う座員から贈られた愛称が如実に示すとお（ザガシラ）役者として大きな抱擁力をもに対し彼は〝芸〟とその理論の指導者とし発展に努力、一時は相当なスパルタ式訓練

[illegible]

…『進軍』の演出『助六』…『陸奥』…など。新作では真…『藤森成吉の『陸奥』…などで、一部…という評を受けている…や新作の歴史劇などで…界に見当らぬともいわ…劇でもなんでもコナせ…七年に主宰した『東京…初公演にエノケンら…のオペラ』に近藤勇の…歌をうたいながら芝居…その翌年山田耕筰ら…『…』ではオペラ『ドン・…』のサンチョを演じたこ…

…れにせよこうした彼の…芸歴をふりかえってみ…彼の海外進出として文…すべき猿之助の北京公…せるために、彼が並々…と努力をはらったこと…るし、かつて同じ志に…人への恩返しの一つだっ…北京で国慶節の花火…中車と眺めながら…『こんで…』と涙ながらに…にもそれが伺い知られ…の演劇復興の協力者と…ているだろうことも想…座全体の動きとともに…ある。（中）

銀幕女優の グループ結成の動き

岸恵子、有馬稲子、久我美子の『にんじんくらぶ』が発足して一年、目下自主映画『胸より胸に』を製作中だが、発足当初は『女が三人寄れば姦しい。まして若い三大スターのグループとなればそうそう長続きするものではない。よく続いて一年、おそらく半年で解散するだろう』という評判もあった。ところがそのうわさをよそに自主映画企画作品もつづいて『奉教人の死』『乱菊物語』など七本を発表して張切っている。これに刺げきされてか最近若い女優仲間にもグループを作ろうとする気配が多く見られ、中には来春には発足しようというものもある。

不満組が画策
桂木洋子らの四人グループは延期
野添、紙、藤野、七浦らも

最近でもっと具体化しつつあったのは桂木洋子を主軸にした小林トシ子、左幸子、小田切みきの四人グループ。桂木は現在も佐野周二らの『まどかぐるーぷ』に在籍しているだけに、この動きは一切内密に運ばれていたようだ。というのは桂木としては『まどかぐるーぷ』では佐野をはじめ増田順二、三井弘次、伊沢一郎などと彼女より数倍も先輩ばかりであり、彼女の意見などはどうしても生かされない立場だったことによる。そこでこの不満を彼女の夫である猪俣勝人の所属する『三人会』（芥川也寸志、団伊玖磨）に相談した結果、それならば改めて女優だけのグループを作ったらいいという話になった。彼女と共にひところ『まどか』入りを噂された小林トシ子もこの新グループに賛成して発起人の一人となった。続いて日活と新東宝の間を歩き五社協定で痛めつけられた左幸子が小田切きとともにグループ運動に加わり、いよいよ発足間近かまでこぎつけた。ところがこれが洩れていろいろの差支えが起き、発足は目下のところ無期延期の状態になっている。

また松竹に在籍中の野添ひとみ、紙京子、藤乃高子、七浦弘子、代敬子などの宝塚、松竹歌劇団

[illegible]

みち子、有馬稲子…らと京紙高弘…かひ子、乃浦代…上添　野…紙藤七雪…

…の間にもグループ活動をしようという動きがある。但しこの方はグループを作っても、映画製作などの予定もなく、ゆくゆく親睦を目的としたものといわれているが、この発起人の一人はすべては発足してからのことで、こん後どう発展するか判らない。もちろんグループを作ってみればいろいろ欲も出るだろうし、参加するスターも増えると思う。それまでは難かしい圧迫も何かとあるもので…』といっている。

その他若尾文子、根上淳、菅原謙二などが契約更新を機会にグループを作ろうという気配もあったが、これもうわさだけで実現するには至らなかった。しかし各社の若手スターのなかには色々とグループ結成の準備活動があるのは事実で、果して来年度に幾つのグループが生れるか興味をあつめている。

小林トシ子　左幸子　桂木洋子　小田切みき

スターのいる町

麻布界隈（その二）

〝安珍・清姫〟を逆でいく
下宿の学生に追い回された大塚道子

大　塚道子が俳優座から歩いて五、六分のところにある素人下宿の二階に住んでからもう八ヵ月ばかりになる。大変便利だし、住み心地も悪くないらしい。ところがかの女この一年に三度もネグラを変えているのである。以前、東急大井町線上野毛の田舎から緑ケ丘に引越したときは、たった一ヵ月余りでソソクサと引払ってしまった。これにはもちろんワケがある。

彼女を〝お姉さま〟と呼ぶ下宿の男学生につきまとわれたからだ。『だってね、ファンの程度を起してるのよ。私が放送かなんかで夜十一時ごろくたびれて足音を忍ばせて帰ってくるでしょう。それなのにチャンとかぎつけて〝お姉さま、散歩に行きませんか。お茶のみに出ましょうか〟でしょう。常識がなさすぎるわ。で、私〝そんな夜更けに散歩する習慣ありませんから〟っていつも断ってたの…』といった具合で、まるで昔の特高と同宿しているような不安にとりつかれ、ノイローゼ気味になり、たまらなくなって逃げ出すようにいまの下宿へ来た。

大塚道子

逃　げられたと知ったイカレ学生の方は劇団へ電報を打って来たり、果ては劇団後援会に入ったり、速達をよこして彼女をつかまえようと追って来る。一度などは劇場に入るところをバッタリ顔を合わせ、夢中で裏口から飛び出したこともある。まさに安珍・清姫の逆さ版だが、このごろやっと学生の方で諦めたらしい。

俳　優座と劇場があるので食べもの屋も随分増えた。一番近いのは劇団事務所前の喫茶兼バー兼食堂のTだが、ここは劇団のサロンみたいなもの。それにスタジオ劇団新人会の事務所でもあり、同会の大刀…

安珍といえば、蔵前の国技館で大相撲が行われる時期になると、六本木族の間に一分、二分刈りの坊主アタマが出現する。首から下はたしかに新劇俳優の卵とみえる。要するに俳優座養成所の生徒たちなのだが、何のことはない、話題の取組みにカ…

[illegible]

ケをして負けた方が頭を丸めるというわけだ。

川洋一が東宝での親友久保明をひっぱって来たり奥座敷でプロ…

久保明　渡辺美佐子　東野英治郎

…留、渡辺美佐子、北里美雪、小沢昭一、早野寿郎らと公演の赤字埋めについて、余り悲痛な顔…

…それでも得意で『どうだ、あの素ばしこい鮎を一匹釣れるのがウチにおるかい』といいながら、このTへ塩焼きにして昼飯用に届けるようにして来た。ところがその日の二階へマダムの客が来た。それを調理場でどうしたか二階の方へ届けてしまった。その客が三匹目をまさにつっこうとしたところを飛んで来たマダムが『アユお預けッ』とひったくってしまった。大急ぎで魚屋へ走って釣った二匹分を買いに出したが東野の釣ったヤツより一回り大きい。仕方ないので中三匹目を皿に盛って届けたがお客は目を丸くして『オオウ、グッと大きくなるものかね』……まいやどうも！【次回は…日、麻布界隈その三】

東おどり
相変らずまずまり千代のリード
…（新橋演舞場）…

○…派手っ気や先走った新作かぶれをよけて、天下の新橋らしいふんい気が漂ってきた。相変らずまり千代のリードは上上で、ゲタはずれの大尽暮しのために追放を食った淀屋辰五郎（まり千代）と遊女吾妻（染福）との純愛をみせる吉井勇作『夢枕淀屋話』は大名行列、邯鄲の舞の場などもけんらんたる豪華版で、老松の隠密、喜代の幇間などスター揃いである。

○…これに比べて宮廷の番人との恋に走った姫君の冒険をハッピーエンドに結んだ阿木翁助作『竹芝物語』は筋の運びでも飛躍しすぎて不十分。芸者さんたちにセリフをくどくどいわせるのも間違いのもとで、まり千代の朝麻呂、且子の姫ともにもたつく。琳子の黒人が好演。田中青滋作『真実』は働き者の百姓太郎（絹丸）が廓通いにさそわれ、そこで遊女花野（福丸）の真実の愛情を得るという筋。洪水の場面の気のきいた装置、按舞の軽快さなど小ざっぱりとまとまった小品。

○…邦枝完二作『武蔵野』は小くにと染福で気品も備わり落着いた出来。『猩々』はゆみ、美代龍に金弥で張り切った舞台をみせる。新橋バラエティの総踊り、菊之丞振付の『江戸芸者図絵』はマンボ調も折りこんで新味を狙っているがありきたり。寿輔振付の『勢獅子』も奴、せき弥、ちづ子などの奮闘に拘わらず案外はえない。ほかに『屋敷娘』『羅漢衣』がある。（杏）

『武蔵野』の小くに㊨と染福

新宿キャバレー さくらめんと

元藤燁子モダン・ダンス公演

十三日、六時半第一生命ホール、なお元藤は津田信敏門下。

国際劇場、来月中旬から改装で休館

国際劇場で上演中の恒例『秋の踊り』は千秋楽を十二月十三日と決定し、その後は三十一日まで休館、劇場内外の改装を行うことに内定した。こんど改装修理するのは舞台の張替、客席、廊下、屋根などで、舞台機構の大ぜり、横ぜりの新設置も考慮中である。

おしゃべり棒

ヤンキース強し
向うの方が巨人だった。
―巨人軍

名選 都々逸

石井きんざ選

触れれば落ちなん風情も稼業　家じゃふたりのお母さん　神田・鈴木長春

泣いちゃいけない別れはしばし　涙は酒までまずくなる　〆京・木村いつ秋

ふり続く雨もどうやらからりと晴れて　秋へ名残りの赤トンボ　常磐・竹本喜美太夫

来るか台風恐くはないぞ　しっかり抱かれて寝てる夜　船橋・今井ちさと

軽く雨しょぼ踊って見せる　旦那で躍くにはおしい人　長岡・かつらぎ録

◇

毎夜の夜業も気楽な一人　屋台のそば屋も顔なじみ　選者

■しし■催■　新作バレエ公演　▽小牧バレエ団『日輪』四幕六場の芸術祭依嘱公演は十四、十五、十六各日六時日比谷公会堂で開演。有馬笠史、清水脩脚色、美術伊藤寿一、照明松崎国雄、高田信一指揮東フィル、小牧バレエ団総出演。

▽安藤三子、堀内完ユニークダンス・グループは十四日六時産経ホールで『ガラスの街』『オセロ』『カクテール』を上演。特出ペギー葉山、平岡斗南夫、演奏原信夫とシャープ・アンド・フラット。

やまうば会　十六日五時半、本牧亭。山遊亭金太郎の『片袖』『秋刀魚火事』ほか枝太郎、正行、小金馬、玉遊、サンプク・メチャコ、木亨志が出演。

はと笛

▽…このほど日暮里の悠玄亭玉介宅の電話番号が変った。彼氏、野球が大好きで『声色チーム』を率いているが、偶然にもこんどの番号が八九局の五五一一番で、つづけて読むとヤキュウゴゴイイ。

▽…彼氏すっかり気に入って『これからは野球に精ださなくちゃ』とご満悦。傍できいていた細君『これ以上やられたら商売にさしつかえます。ヤキュウ駄目と読めるような番号ないかしら』と横目でジロリ。【写真は悠玄亭玉介】

今晩のラジオ　12日（土）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 子供のシンフン◇今日もどこかで　古賀さと子他 40 スポーツだより	05 英語会話　松本亨 15 記者手帳から 30 『妖精』他　歌西内静子	10 東西こぼれ話　高野アナ 25 ぴよぴよ大学　河井坊茶 55 スポーツタイム	00 劇『少年宮本武蔵』 10 陽気な一家　関弘子他 45 スポーツニュース	00 音楽　セ・シ・ボン他 15 漫才『野球教室』悦郎艶子 30 歌謡曲　伊藤久男他
7	00 ニュース◇天気予報 30 電話交換手の二十の扉　小谷映子他	00 映画音楽≪シャンソン特集≫　解説清水光雄 30 青年学級の友へ　吉田昇	00 ニュース◇天気予報 20 秋草の歌他　奈良光枝 30 どうしまショウ	10 ≪チリビリビン≫他　歌ペリー・コモ 30 アベツク歌合戦トニー谷	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌沼田喜之 30 落語『将棋の殿様』馬生他
8	00 なつかしのメロディ≪昭和篇≫淡谷のり子他 30 とんち教室≪三鷹市≫石黒敬七　北原文枝他	05 コーラスタイム『茉莉花』他　名古屋放送合唱団 30 音楽の花束『夜も昼も』 45 スポーツショウ	00 コメディ『花嫁募集中』森繁久弥　草笛光子他 30 浪曲『次郎長伝』≪荒神山≫広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢　水の江滝子　小泉登他 30 ユア・ヒツトパレード　ビル・ハリー楽団他	00 フライング・メロデイ　ゲスト宮城まり子　秀雄 30 雪村いづみショウ　ゲスト柳沢真一　シヤイン他
9	00 ニュース解説　藤瀬五郎 15 連続浪花節『磯川兵助功名噺』東家浦太郎 40 夢さまざまなボーナス談	00 邦楽鑑賞会『能』水道橋能楽堂にて≪関寺小町≫桜間弓川　松本謙三　森茂好　宝生彰彦他	10 歌謡曲≪霧の川中島≫他　中島孝　神楽坂玉枝他 40 劇『雷電』尾崎士郎作　宇野重吉　来宮良子他	00 新喜劇『泣き笑い芝居横丁』渋谷天外他 30 劇『この世の花』丹阿弥谷津子　津村悠子他	00 劇『太郎行くところ』司葉子　大川太郎他 30 新国劇『月形半平太』島田正吾　水戸光子他
10	15 落語『猫の皿』古今亭志ん生　解説正岡容 40 今週のニュース特集	00 高等学校講座❶解析佐藤忠❷英語梶木隆一 45 気象通報	05 今日のニュース（毎日） 15 絵のない漫画　日出造 30 星のまたたき	00 大学受験秋期実力養成講座　英文法　野原三郎 30 国語　富倉徳次郎	00 歌謡曲　若原一郎　春日八郎　林伊佐緒他 35 スポーツ・カレンダー
11	00 天気予報◇ニュース 20 ひなたぼつこ　内田亨作	00 家庭と学校≪勉強の出来ない子≫鈴木清	10 音楽の星座第一管弦楽団 45 メリイ・フォードの歌	00 独唱　マリオ・ランツア 50 ニュース◇天気予報	00 唄ごよみ　中山瑞子 15 週間ニュース解説

テレビ

★NHK★　◆6・00親子クイズ◆6・30今晩はメイコです◆7・30フアイアストーン楽団◆8・00シルエツト劇『走れメロス』◆8・40民謡お国めぐり◆9・25国宝絵巻物名作展

★NTV★　◆6・00劇『こども探偵局』◆6・15趣味の手品教室◆6・30素人のど競べ◆7・30なんでもやりまショウ◆8・20舞台劇中継『巷談炙点斬』猿之助劇団

★KR★　◆6・00映画≪みかん≫◆6・35マンガ『サザエさん』◆6・50東京テレニュース◆7・00映画◆7・30劇映画『遥かなる戦線』◆9・10探偵劇『日真名氏飛び出す』